

奄美群島振興交付金事業計画(R1～R3)の実績に関する評価(総括)

1 成果目標の達成状況

評価対象 事業数	成果目標 設定数	達成	おおむね達成	未達成	達成度未定	【参考】 達成＋ おおむね達成
83	114 (100%)	29 (25%)	29 (25%)	53 (46%)	3 (3%)	58 (51%)

※「達成」…達成度100%以上,「おおむね達成」…達成度70%以上100%未満,「未達成」…達成度70%未満

2 評価結果

【達成度の判定】○(達成):100%以上,△(おおむね達成):70%以上100%未満,×(未達成):70%未満

番号	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(花き除く)	②奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(花き)	③奄美地域における製造品出荷額
1	奄美群島農林水産物等 輸送コスト支援事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 元 年度
			値(①)	55,436 t	55,481 t	44,154 t
			値(②)	56,156 千本	56,156 千本	46,736 千本
			値(③)	20,312 百万円	21,531 百万円	21,028 百万円
	事業実施年度 R 1 ~ R 5	評価	【R3年度】農林水産物等の輸送コストの支援により,共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し,出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られたが,農産物については,天候不良による収穫の遅れ,林産物,水産物については,新型コロナウイルスの影響により出荷量が減少した。			
	事業主体 奄美群島12市町村		今後の取組方針 令和元年度からこれまでの農林水産物の輸送支援に加え,加工品の輸送と移出する農林水産物の原材料を移入する場合も当事業の補助対象とされた。 今後さらに補助対象者の生産振興計画に基づいた取組が着実に実施され,生産基盤の強化が図られるよう,市町村等との連携を強化する。			
2	奄美群島交流需要喚起 対策特別事業	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①対象路線における航空輸送旅客利用者数 ②対象路線における航路輸送旅客利用者数		
			区分	基準	目標(中間)	実績
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度
			値(①航空)	381 千人	422 千人	273 千人
			値(②航路)	145 千人	148 千人	62 千人
	事業実施年度 R 1 ~ R 3	評価	【R3年度】新型コロナウイルスの影響により,対令和元年度は減少(航空:80.8%,航路:56.9%)したが,対前年度は増加(航空:159.6%,航路:114.8%)した。また,同影響により,中間目標達成度は航空:65%,航路42%であったが,通年で335千人の交流が図られた。			
	事業主体 奄美群島航空・航路運賃軽減協議会		今後の取組方針 引き続き,地元市町村や事業者と連携し,本事業を通じた運賃軽減や広報宣伝等に取り組む。			
3	奄美・沖縄連携交流促進 事業	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①対象路線における航空輸送旅客利用者数 ②対象路線における航路輸送旅客利用者数		
			区分	基準	目標(中間)	実績
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度
			値(①航空)	54 千人	60 千人	46 千人
			値(②航路)	75 千人	76 千人	27 千人
	事業実施年度 R 1 ~ R 5	評価	新型コロナウイルスの影響により,対令和元年度は減少(航空:62.2%,航路:43.5%)したが,対前年度は増加(航空:127.8%,航路:122.7%)した。また,同影響により,中間目標達成度は航空:77%,航路36%であったが,計73千人の両地域の交流が図られた。			
	事業主体 奄美群島航空・航路運賃軽減協議会		今後の取組方針 引き続き,沖縄県や奄美群島市町村,事業者と連携し,本事業を通じた運賃軽減に取り組む。			

番号	事業名		アウトカム指標	対象路線における航空輸送旅客利用者数				
4	奄美群島航空運賃軽減事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	611 千人	677 千人	428 千人	63.2%	×
	事業実施年度 R 1 ~ R 5	今後の取組方針	評価	新型コロナウイルスの影響により、対令和元年度は減少(74.2%)したが、対前年度は増加(122.3%)した。また、同影響により、中間目標達成度は63%であったが、引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。				
	事業主体 奄美群島航空・航路運賃軽減協議会			引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。				
番号	事業名		アウトカム指標	対象路線における航路輸送旅客利用者数(離島割引の利用者数)				
5	奄美群島航路運賃軽減事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	136 千人	136 千人	76 千人	55.9%	×
	事業実施年度 R 1 ~ R 5	今後の取組方針	評価	【R3年度】奄美群島住民等の負担軽減が図られているが、コロナの影響等により利用実績は伸び悩んでいる。				
	事業主体 奄美群島航空・航路運賃軽減協議会			引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。				
番号	事業名		アウトカム指標	①葉にんにくの生産性向上(単収増加) ②島らっきょうの生産性向上(単収増加) ③奄美プラム(カラリ)の生産性向上(大玉系統の栽培面積拡大)				
6	農業創出緊急支援推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値(①)	710 kg/10a	810 kg/10a	- kg/10a		—
			値(②)	700 kg/10a	700 kg/10a	- kg/10a		—
			値(③)	25 ha	27 ha	31.7 ha	117.4%	○
	事業実施年度 R 1 ~ R 5	今後の取組方針	評価	葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖、島らっきょうのウイルスフリー種球の作出および増殖を行った。R5年度に現地供給予定のため、R3年度はアウトカム指標の実績となる数値なし。奄美プラムは、大玉新系統の生産安定のための施肥試験および生育調査を行った。また、台木に穂木を次いで355本植え付けた(約2.0ha:18本/10aで積算)。				
	事業主体 鹿児島県			葉にんにくについては、R4年度にウイルスフリー種球の生産力検定、R5年度に現地供給。島らっきょうについては、R4年度にウイルスフリー種球の増殖および生産力検定、R5年度に現地供給。奄美プラムについては、R5年度まで各種試験・調査を行い、R5年度にマニュアルを生産者等に配布。				
番号	事業名		アウトカム指標	適期管理による単収の向上(kg/10a)				
7	さとうきび産地活性化事業(さとうきび機械導入支援事業)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	H24~H30の平年値	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	4,847 百万円	5,332 百万円	5,333 百万円	100.0%	○
	事業実施年度 R 3 ~ R 5	今後の取組方針	評価	【R3年度】機械導入等の支援により、さとうきびの適期管理が図られ、目標達成ができた。				
	事業主体 鹿児島県			さとうきびの効率的・安定的な生産体制を確立するため、引き続き、作業受託組織等を対象に機械整備等の支援を行う。				
番号	事業名		アウトカム指標	ハブ咬傷者数				
8	ハブ対策事業(ハブ駆除対策事業)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	H19~H28の平均	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	55.7 人	55 人以下	34 人	達成	○
	事業実施年度 R 1 ~ R 3	今後の取組方針	評価	【R2年度】咬傷者数は29人で、目標を達成した。				
	事業主体 鹿児島県			ハブ咬傷者数55人以下を目標として、引き続きハブに関する情報提供に努めるとともに、ハブ個体群変動調査等を行い、ハブとの棲み分けの検討を進める。				
番号	事業名		アウトカム指標	ハブ咬傷による死亡者数				
9	ハブ対策事業(ハブ咬症対策事業)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 26 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	1 人	0 人	0 人	達成	○
	事業実施年度 R 1 ~ R 3	今後の取組方針	評価	【R3年度】ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。				
	事業主体 鹿児島県			ハブ咬傷による死亡者発生0を目標とし、咬傷時に備え医療機関等へ抗毒素の配備を行う。				

番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数				
10	世界自然遺産「奄美」保全・活用事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値(②)	85 人	160 人	147 人	91.9%	△
	事業実施年度		評価	【R3年度】 令和3年7月26日「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録されたことから登録記念イベント等を行い気運の醸成を図った。また、登録時に出された世界遺産委員会の要請事項への対応を行うとともに世界自然遺産としての価値の維持や自然環境の保全と利用の両立を図るため、金作原など利用ルールの運用や奄美トレイルの全線開通に伴う利用促進に取り組んだ。				
	R 1 ~ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		奄美大島、徳之島の世界自然遺産登録地域の適切な保全・管理に向けて、遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立や気運の醸成など、必要な取組を推進する。				
鹿児島県								
番号	事業名		アウトカム指標	奄美自然観察の森利用者数				
11	奄美自然観察の森整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	15,686 人	20,000 人	2,623 人	13.1%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】園路及び園路広場、野鳥観察施設(昆虫小屋、池)、休憩・学習施設、指示標識、IoT整備等を実施した。8月から3月まで工事に伴う閉園期間と併せて新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者が激減したことから中間目標値の達成が困難となった。				
	R 1 ~ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		次号計画の調整に期間を要したことから一部繰越を行う。引き続き、早期完成を目指してリニューアル工事を実施する。				
龍郷町								
番号	事業名		アウトカム指標	海面漁業の生産額				
12	水産資源利用開発調査	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	10,170 百万円	10,329 百万円	8,471 百万円	82.0%	△
	事業実施年度		評価	【R3年度】 新型コロナウイルス感染拡大による需要低下や海底火山由来と思われる軽石の大量漂着等による出漁自粛等の影響を受け、目標値の約82%となった。				
	R 1 ~ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		地域特産種の資源増大や藻場造成、漁場予測技術の開発と効率的な操業支援に加え、未・低利用資源の加工品開発を継続し、奄美群島全体の水産業振興に寄与する。				
鹿児島県								
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島の宿泊観光客数				
13	奄美パーク展示等リニューアル事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 4 年度	令和 2 年度		
			値	775 千人	810 千人	602 千人	74.3%	△
	事業実施年度		評価	【R3年度】現在、奄美群島の宿泊観光客数は集計中である。奄美群島の観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。				
	R 1 ~ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		奄美大島が世界自然遺産に登録され、情報発信拠点施設としてより重要な施設となることから、引き続き着実に事業の推進を図る。				
鹿児島県								
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島の農業産出額の増加				
14	農業創出緊急支援事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 5 年度	令和 2 年度		
			値	36,942 百万円	40,636 百万円	32,485 百万円	79.9%	△
	事業実施年度		評価	【R3年度】※統計数値が示されていないため達成度未定。新型コロナウイルスの影響により農業機械等の納入に遅れが生じ、執行率は令和2年度同様低くなっている。				
	R 1 ~ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		引き続き、付加価値の高い農業の推進と台風災害に強い施設等を整備し、農業の生産基盤整備を図る。				
市町村、営農集団等								
番号	事業名		アウトカム指標	与論町における生産牛飼養頭数の増加				
15	畜産緊急支援事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	5,422 頭	5,450 頭	5,768 頭	105.8%	○
	事業実施年度		評価	【R3年度】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により積載型トラッククレーンの納期が大幅に遅れ当該事業のみ翌年度繰越となったが、冷凍コンテナの導入等により死亡獣畜の保管・輸送が可能となる環境整備が行えた。				
	R 2 繰越							
	事業主体	今後の取組方針		現在、死亡獣畜輸送に係る事務手続を行っており、まもなく完了し本格稼働が行える状況にある。今後は、冷凍コンテナ等の整備が行えたことにより死亡獣畜の安定的な処理・輸送が行える。死亡牛発生の事故率の低減への取り組みを行うとともに生産・出荷の拡大を図っていく。				
与論町								

番号	事業名		アウトカム指標	①先進技術習得事業での研修受講者数 ②島外スキルアップ事業での研修受講者数				
16	ICT先進技術習得事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値(①)	0 人	270 人	286 人	105.9%	○
			値(②)	0 人	9 人	6 人	66.7%	×
	事業実施年度	R 1 ~ R 3	評価	【R3年度】 ICT関連企業従事者に対する先進技術習得のための研修講座を開催し、①については目標達成したものの、島外スキルアップ事業の活用事業者が減少し、②については目標値に達することができていない。				
	事業主体			情報通信関連企業や従事者等に対するICTに関する技術及びサービス活用方の習得支援について、R3年度に整備したWorkStyle Labの活用や既存企業への外部人材の招聘支援により実施することで、事業拡大による雇用人数増加やフリーランスの事業主化を促進する。				
奄美市	今後の取組方針							
番号	事業名		アウトカム指標	生産年齢人口の中でも若年層(20～44歳)の人口				
17	奄美群島成長戦略ビジョン実現事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	23,626 人	21,438 人	20,852 人	97.3%	△
			事業実施年度	R 1 ~ R 5	評価	【R3年度】 令和5年度の目標を達成するためには、奄美群島の産業振興を図ること で、人材の確保が必要である。		
	事業主体	ビジョン実現に向けた事業を積極的に展開していくことに加え、コロナ禍の影響を考慮しながら取組を検討していく。						
	奄美群島広域事務組合						今後の取組方針	
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起業及び新商品・サービスの累計創出件数				
18	奄美群島チャレンジ人材育成事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値	0 件	40 件	10 件	25.0%	×
			事業実施年度	R 1 ~ R 3	評価	【R3年度】 民間チャレンジ:募集件数47件 採択件数11件 事業完了10件 起業家人材育成:H26年度～R2年度までの成果をまとめ、課題と成果の整理を行った。スタートアップ支援事業:クラウドファンディングサイト「奄美群島 with CAMPFIRE」を開設(5件起案、調達金4,231,607円)		
	事業主体	奄美群島内の産業分野を超えた横断的な事業者連携による起業支援体制を構築することで、奄美群島における民間主導型の産業振興モデルの充実化を図る。						
	奄美群島広域事務組合						今後の取組方針	
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起業及び新商品・サービスの累計創出件数				
19	人材育成成果発表会	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値	0 件	40 件	12 件	30.0%	×
			事業実施年度	R 1 ~ R 5	評価	【R3年度】与論町での開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの開催となった。7名が自らの体験等を発表。併せて奄美群島民間チャレンジ支援事業見本市を同時開催し、5社が出店。9/22現在1,629回視聴。		
	事業主体	次年度以降も広域事務組合の実施する人材育成事業参加者が、自らの受講体験を広く地元住民等に対して語ることで新たな人材の掘り起こしを図る。併せて、広域事務組合の実施する人材育成事業認知度の更なる向上を目指す。						
	奄美群島広域事務組合						今後の取組方針	
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数				
20	奄美群島観光物産広域連携事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値	343,741 人	386,251 人	406,750 人	105.3%	○
			事業実施年度	R 1 ~ R 5	評価	【R3年度】 新型コロナウイルスの影響があったが、旅行客数は回復傾向にある。今後も客数増加に向け、来訪の推進が必要。		
	事業主体	引き続き、奄美群島観光物産協会と連携し、観光交流人口増加に向けた旅行喚起施策等及び物産面のブランディングを積極的に展開する。						
	奄美群島広域事務組合						今後の取組方針	

番号	事業名		アウトカム指標	R1～R5年度の移住体験事業参加者のうち、移住した者の数				
21	UIOターン支援体制構築事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
	年度		平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度			
	値		0 人	25 人	23 人	92.0%	△	
	評価		【R3年度】令和5年度の目標のうち5割を超えており、一定の成果は上がっている。今後は、オンラインや現地ツアーの開催を含めて情報を発信し、目標値を越せるよう対策を行う。					
	事業実施年度	R 1 ～ R 5						
事業主体								
奄美群島広域事務組合		今後の取組方針		移住者・交流人口増加のため、都市部の移住・交流フェアへの参加や移住体験プログラムの周知、空き家対策の取組を行う。				
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数				
22	奄美群島エコツーリズム推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度			
	値		85 人	160 人	147 人	91.9%	△	
	評価		【R3年度】奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:14名)					
	事業実施年度	R 1 ～ R 5						
事業主体								
奄美群島広域事務組合		今後の取組方針		エコツーリズムの推進に資する人材の質的向上と量的確保、及び地域連携体制の強化を図るとともに、自然観光資源のモニタリングについて運用を本格化し、人為的影響による資源の状態の変化等を把握する。				
番号	事業名		アウトカム指標	増加する外国人観光客の受入を担う奄美群島地域通訳案内士研修の修了者数				
23	奄美群島地域通訳案内士育成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度			
	値		107 人	186 人	159 人	85.5%	△	
	評価		【R3年度】地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】30名(英語22名、中国語5名、韓国語3名)					
	事業実施年度	R 1 ～ R 5						
事業主体								
奄美群島広域事務組合		今後の取組方針		今後も世界自然遺産登録を見据え、外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士の育成を推進する。				
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数 (当事業内において実施している観光振興基礎調査に基づいて推計)				
24	奄美群島観光動向調査	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		令和 2 年度	令和 5 年度	令和 3 年度			
	値		359,780 人	386,251 人	406,750 人	105.3%	○	
	評価		【R3年度】携帯電話のGPSデータを基に奄美群島内110箇所への滞在者の居住地・性別・年齢等の属性を分析することにより、今後の観光戦略の基礎データを構築した。					
	事業実施年度	R 3						
事業主体								
奄美群島広域事務組合		今後の取組方針		観光戦略に繋がるよう、成果物を各市町村へ配布した。令和3年度にて事業終了。				
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数				
25	奄美群島観光プロモーション動画制作事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度			
	値		343,741 人	386,251 人	406,750 人	105.3%	○	
	評価		【R3年度】奄美群島の自然・文化といった観光資源を活用したプロモーション動画を制作し、YouTubeでの配信を行い、観光PRを実施した。本事業により奄美群島への更なる観光誘客拡大を図った。					
	事業実施年度	R 2 ～ R 3						
事業主体								
奄美群島広域事務組合		今後の取組方針		動画広告を配信することで得られる視聴者の属性(年代、性別、国)、興味等を把握・分析。分析データによりターゲットに応じた施策検討を行い、より効果的なプロモーションを図ることで認知度向上につなげる。				

番号	事業名		アウトカム指標	①広告の注目度(ユーザーが広告を閲覧した回数) ②広告の誘導性(サイトの目的達成回数) ③事業者の情報発信力の向上(アンケート調査による事業者の情報発信力向上率)				
26	戦略的情報発信支援事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値(①)	0 回	100,000 回	192,534 回	192.5%	○
			値(②)	0 回	1,000 回	32,703 回	3270.3%	○
			値(③)	0 %	70 %	192 %	274.3%	○
	事業実施年度 R 2 ~ R 4		評価	【R3年度】 yahooスポンサードコンテンツを活用し17記事を掲載した。全記事の総PV数は192,534回となった。				
	事業主体 奄美群島広域事務組合	今後の取組方針		群島内情報発信事業者と大手デジタルメディアの連携による訴求力の高い情報発信を行いつつ、民間事業者の情報発信スキルアップを図る。				
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数				
27	奄美黒糖焼酎販路拡大・人材育成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年(暦年)	平成 30 年	令和 4 年	令和 3 年		
			値	7,385 kℓ	7,500 kℓ	7,251 kℓ	96.7%	△
	事業実施年度 R 3 ~ R 5		評価	【R3年度】 黒糖焼酎の海外販路に向け、酒造組合や黒糖焼酎事業者等からなるワーキンググループを設置するとともに、米国での酒類の市場調査や、LAサンプルショールームへの出展やSakeShochuMeetupへの参加といった海外でのPR活動を行うなど販路拡大や蔵元の人材育成を図った。また、海外輸出へ関心のある企業に対する相談支援を行った。				
	事業主体 奄美群島広域事務組合	今後の取組方針		黒糖焼酎の海外販路拡大に向け、引き続きワーキンググループを運営、海外でのPR活動を行うなどにより海外販路の拡大や人材育成を行う。				
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数				
28	観光拠点連携整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年(暦年)	平成 29 年	令和 5 年	令和 3 年		
			値	825,791 人	950,000 人	556,716 人	58.6%	×
	事業実施年度 R 1 ~ R 5		評価	【R3年度】 コロナ禍により入込客数が大幅減となったことから目標を達成できていない。				
	事業主体 市町村	今後の取組方針		コロナ禍の影響により入込客数が減少したが、アフターコロナを見据え、今後も増加が見込まれている観光客を受け入れる体制作りのため、引き続き当事業で拠点施設の整備を進める。				
番号	事業名		アウトカム指標	あやまる岬観光公園来園者数				
29	あやまる岬エリア整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	116,217 人	118,000 人	62,771 人	53.2%	×
	事業実施年度 R 1 ~ R 3		評価	【R3年度】新型コロナウイルスの影響が長引き、目標は未達成ながらも、回復傾向にある。				
	事業主体 奄美市	今後の取組方針		令和4年度で観光整備が終了予定のため、ソフト事業の拡充にシフトし周遊型観光の振興を図る。				
番号	事業名		アウトカム指標	奄美野生生物保護センター来館者数				
30	アマミノクロウサギ飼育展示施設整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	11,000 人	15,000 人	7,445 人	49.6%	×
	事業実施年度 R 1 ~ R 5		評価	【R3年度】 ボーリング調査、建築実施設計及び展示実施設計を実施した。本事業により、観光旅客の受入に向けて施設整備を推進することできた。				
	事業主体 大和村	今後の取組方針		実施設計に基づき、予算確保次第建築から発注予定。				

番号	事業名		アウトカム指標	奄美フォレストポリスへの入込客数				
31	奄美フォレストポリス再整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	18,629 人	23,000 人	11,892 人	51.7%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】新型コロナウイルスの影響で島外の観光客の激減、感染防止による閉園等により来園者、宿泊者が落ち込んだままであった。念願であった世界遺産登録による観光客増加を見込んでいたが、その期待は来年度への持ち越しとなった。今後も順次再整備を行い、新たな観光客を取り込める魅力ある施設へ推進を図りたい。				
	R 1 ~ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		引き続き世界自然遺産登録も見据えた計画的な奄美フォレストポリス園地全体の再整備を図る。				
	大和村							
番号	事業名		アウトカム指標	ゲストハウス稼働日数				
32	ゲストハウス整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 4 年度	令和 3 年度		
			値	0 日	100 日	0 日	0.0%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】中長期滞在が可能となるゲストハウスが整備されたことにより、利用者が集落での生活を体感出来る環境が整ったことから村内での滞在時間増加による観光外貨獲得でなく、「交流人口」→「関係人口」→「定住人口」への転換が期待できる。				
	R 3 ~ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		事業効果をより一層効果的に発揮するためにゲストハウスの稼働率向上を図ることを目的としたICTを活用した集客計画を推進したい。				
	大和村							
番号	事業名		アウトカム指標	体験事業による年間受入人数				
33	国直うみがめ公園整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	1,868 人	1,200 人	465 人	38.8%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】複合遊具の設置を図り、ウミガメ公園が完成したが、コロナの影響により観光客の減少により、体験事業による受入人数は伸びなかったが、マイクロツーリズムの推進を図った。				
	R 3 ~ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		「国直ウミガメ公園」が完成し、乳幼児や低年齢の子どもが楽しめる環境ができることにより、家族連れの訴求力を高めることができた。今後、滞在時間・交流人口の拡大が期待されることから、更なる誘客の促進を図っていく必要がある。				
	大和村							
番号	事業名		アウトカム指標	瀬戸内町への年間入込客数				
34	清水地区トイレシャワー施設整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	150,081 人	170,000 人	89,365 人	52.6%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】当初令和4年3月完成予定であったが、資材等の搬入がコロナ禍により遅延し、繰越事業となった。				
	R 3							
	事業主体	今後の取組方針		令和4年4月に完成し、5月から利用を開始した。癒やしの島を満喫できるように観光客の受入増加を図る。				
	瀬戸内町							
番号	事業名		アウトカム指標	「環境文化への学び舎」来館者数				
35	秋名地区「環境文化の学び舎」整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値	0 人	6,000 人	50 人	0.8%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】本体工事着工・完了。令和4年4月に供用を開始する。本事業により、交流人口の増加に向けて施設整備を推進することできた。				
	R 2 ~ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		奄美群島国立公園地域に含まれる同地区の秋名集落において、シマの日常の暮らしや伝統文化である「秋名アラセツ行事」を、見て・触れて・知る施設として位置付け。奄美大島の新たな観光ルート(県道ルート)として、観光振興に取り組む。				
	龍郷町							
番号	事業名		アウトカム指標	徳之島への入込客数				
36	大和城観光地連携整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	128,000 人	130,000 人	90,807 人	69.9%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】新型コロナウイルス感染症の影響から、若干回復傾向にある。アフターコロナを見据え、令和3年度末に運用を開始した大和城バンガローを軌道に乗せ、さらなる入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図る。				
	R 1 ~ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		入込客数の更なる増加につながるよう、環境整備や観光地PR等の強化を図るとともに、世界自然遺産に登録されたことを踏まえ、環境と自然に配慮した事業推進を行う。				
	天城町							

番号	事業名		アウトカム指標	笠石海浜公園に訪れる観光ツアー客数				
37	笠石海浜公園周辺整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	4,400 人	4,700 人	2,117 人	45.0%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度から令和3年度にかけて入込客の減少やツアーのキャンセル等が増加したことで目標を大幅に下回った。				
	事業主体	今後の取組方針		新型コロナウイルス感染症拡大の影響にもよるが、笠石海浜公園の環境整備による利便性向上が図られたことの周知・啓発を島内旅行関係団体(観光協会及びバス企業団等)に行うことで観光ツアーによる誘客促進を図る。				
	和泊町							
番号	事業名		アウトカム指標	与論町への入込客数				
38	大金久海岸環境整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	72,000 人	80,000 人	42,694 人	53.4%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】老朽化した既存遊歩道をゴムチップ舗装に改修整備し、併せて沿道不毛地帯の植栽を行った。舗装に関しては、長さ195.5m、幅1.5mとなっている。百合ヶ浜及び遊歩道散策による観光客の滞留増加を図るため、施設整備を推進することできた。				
	事業主体	今後の取組方針		一部未整備の箇所があることから、次年度でもゴムチップ舗装及び沿道不毛地帯への植栽を実施する。				
	与論町							
番号	事業名		アウトカム指標	徳之島への入込客数				
39	あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	128,000 人	130,000 人	90,807 人	69.9%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】昨年度より繰り越した設計業務等を完了し、一部の工事着手済み。次年度へ全額を繰越し、整備が本格的に開始する。整備に併せて、施設運用へ向けた関係機関との協議の場を持ち、入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図る。				
	事業主体	今後の取組方針		繰越後は早期に事業着手に努めるとともに、年次的に事業推進できるよう細部調整に努める。世界自然遺産に登録されたことにより、観光需要が高まることを見据え、多様な観光ニーズを的確に捉えつつ事業推進を図る。				
	天城町							
番号	事業名		アウトカム指標	利用者アンケート項目「施設・サービス内容」の大変満足・満足度				
40	奄美海洋展示館リニューアル事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	50 %	70 %	66 %	93.9%	△
	事業実施年度		評価	【R3年度】リニューアル事業完了後の指標は達成できなかったが、概ね目標値に近い数値となった。コロナ禍による運用面の課題が残る。				
	事業主体	今後の取組方針		今後は更なる満足度向上に繋がるよう運用面も含め改善を図っていきたい。また、他施設への回遊を促す仕組みづくりを強化し、更なる観光振興へと繋げる。				
	奄美市							
番号	事業名		アウトカム指標	湯湾地区観光総合案内所への年間来訪者数				
41	湯湾地区観光総合案内所整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値	0 人	6,000 人	0 人	0.0%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】計画どおり事業を執行し、観光総合案内所を建設することができた。本事業により、観光客の受入体制の強化に向けて施設整備を推進することできた。(オープンはR4.4.1～)				
	事業主体	今後の取組方針		令和3年度については、施設整備を完了させることができた。令和4年度は駐車場整備等を完了させ、来訪者増へとつなげたい。				
	宇検村							

番号	事業名		アウトカム指標	徳之島への入込客数				
42	天城岳登山道周辺整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	128,000 人	130,000 人	90,807 人	69.9%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数が減少したため、成果目標を達成できなかった。繰越事業は、すべて完了した。				
	R 2 繰越							
	事業主体			今後の取組方針	世界自然遺産に登録されたことによる観光客の増加を見据え、奄美トレイルや環境省が整備した登山道と一体的にPRし、滞在型観光の促進に努める。			
天城町								
番号	事業名		アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア)				
43	観光施設機能強化事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	64 %	66 %	48 %	72.3%	△
	事業実施年度		評価	【R3年度】計画どおり村内の観光施設2箇所のトイレを洋式化することができた。本事業により、観光客満足度向上を図るため、観光施設の機能強化を推進することができた。				
	R 2 ~ R 3							
	事業主体			今後の取組方針	今後も村内観光地トイレの洋式化をすすめ、目標とする満足度向上へとつなげたい。			
宇検村								
番号	事業名		アウトカム指標	徳之島への入込客数				
44	観光施設看板設置工事	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	142,734 人	130,000 人	90,915 人	69.9%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】引き続きコロナの影響を受けつつも、達成率70%の結果を出している。本事業により、観光客の利便性向上を図るため、受入体制整備を推進することができた。				
	R 2 ~ R 3							
	事業主体			今後の取組方針	コロナが収束に向かいつつ、社会的にも人々の移動が許容され始めている状況にある。今後は世界自然遺産を核として歴史文化面においても魅力発信を強化し、観光客の受け入れ態勢と整え受け入れ客の増加を図りたい。			
伊仙町								
番号	事業名		アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア)				
45	観光拠点連携情報発信事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	58 %	68 %	47.7 %	70.1%	△
	事業実施年度		評価	【R3年度】前年度と比較し全体的に満足度が低下しており、満足度調査の項目で「宿泊、食事お土産、交通」への不満意見が多く、全項目において目標達成に至っていない。不満意見が多い要因として、コロナ感染拡大による来島自粛の要請や休業・時短要請が影響としたと考えられる。				
	R 1 ~ R 5							
	事業主体			今後の取組方針	引き続き、満足度調査の項目(宿泊、食事、土産、交通、観光施設、自然景観、ホスピタリティ)ごとに分析、合同専門員会を通して情報の共有を図り改善に取り組む。			
あまみ大島観光物産連盟								
番号	事業名		アウトカム指標	①交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア) ②島の健康資源を活かした旅行商品造成数				
46	奄美らしい観光スタイル構築事業	成果目標及び達成状況	区分	基準年度	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	①H27 ②R1	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	60 %	68 %	48 %	70.1%	△
	事業実施年度		評価	【R3年度】満足度低下の要因として、新型コロナ感染症拡大が依然として続いたことによる、観光・飲食面の行動制限(施設閉鎖・時短営業・島外客受入不可)等が影響していると考えられる。また、アンケート聴取方法の拡大によるサンプル数増加や、細かな調査設計の変更も一要因だと分析される。				
	R 元 ~ R 3							
	事業主体			今後の取組方針	依然としてコロナ感染症の影響を大きく受けている状況であるが、コロナ禍の状況にあっても感染防止と地域経済の両立に向け、世界自然遺産登録を追い風に、地元事業者、DMO等と連携して安全・安心な奄美観光に柔軟に取り組んでいる。			
奄美市								

番号	事業名		アウトカム指標	体験事業・交流イベント開催による受入人数				
47	大和村観光機能向上事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	1,868 人	2,500 人	2,100 人	84.0%	△
	事業実施年度		評価	【R3年度】 コロナ禍において、積極的な観光受入が出来ない状況下に来ることとして、アフターコロナを見据えた観光情報発信に努めるとともに、実際に来訪した際に活用される集落歩き案内看板の設置等を実施した。				
	事業主体	今後の取組方針		引き続き、新型コロナウイルスの影響が懸念され、島外観光客の入込が想定出来ないことから、島内在住者を対象としたマイクロツーリズムを推進し、島内需要を喚起することで、身近なリピーターの創出を図る。				
	大和村							
番号	事業名		アウトカム指標	①瀬戸内町への年間の入込客数 ②観光メニュー参加者数 ③新規観光メニュー開発数				
48	瀬戸内町旅行商品造成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	131,376 人	150,000 人	89,365 人	59.6%	×
			値②	— 人	650 人	468 人	72.0%	△
	事業実施年度		値③	— 件	5 件	4 件	80.0%	△
	事業主体	今後の取組方針		【R3年度】 コロナの影響で目標には届かなかったが、観光メニュー参加者数は、大幅に増加した。				
	瀬戸内町			計画通り今年度(R3)まで本事業を実施し、魅力的な観光商品の開発や既存メニューのブラッシュアップを行い、入込客の増による観光業の活性化を図る。併せてコロナ感染症対策を万全に整えて、安心・安全な観光スタイルを構築する。				
番号	事業名		アウトカム指標	喜界島への年間の入込客数の増加				
49	スマートフォンを活用した観光客満足度向上事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	60,418 人	65,000 人	38,492 人	59.2%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】 3D AR機能を導入することで観光客が島の成り立ち名等をイメージしやすくなった。				
	事業主体	今後の取組方針		様々な機能が揃ったところで今後の活用を検討していくことで、観光客が快適に観光できる環境を整えていきたい。また、多彩な機能をさらに充実させ、島の魅力をデジタルでも発信できるよう努めていきたい。				
	喜界町							
番号	事業名		アウトカム指標	①喜界島への年間の入込客数の増加 ②観光プログラム参加者数 ③奄美らしい観光プログラム数				
50	喜界町旅行商品造成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	53,306 人	65,000 人	38,492 人	59.2%	×
			値②	30 人	200 人	330 人	165.0%	○
	事業実施年度		値③	19 件	22 件	12 件	54.5%	×
	事業主体	今後の取組方針		【R3年度】 プレミア付き体験メニュー利用券はかなり好評で、すぐ完売してしまいベストシーズンでの販売があまりできなかった。販売期間や部数についても検討すべき材料である。				
	喜界町			今後は、アクティビティへの使用を促進できるような取組を検討していきたい。また、実績を踏まえて販売シーズンや部数、内容等を検討しながら滞在型観光をさらに進めていきたい。				

番号	事業名		アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数				
51	ヨロン戦略的交流促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	72,000 人	80,000 人	42,694 人	53.4%	×
			値②	9,000 人	10,000 人	3,693 人	36.9%	×
			値③	0 件	5 件	5 件	100.0%	○
	事業実施年度	評価	【R3年度】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来島者数も大幅に減ったため当初予定していた目標を達成出来なかった。					
R 元 ~ R 3								
	事業主体	今後の取組方針	新型コロナウイルス収束後を見据え、国頭村等の沖縄北部と連携した旅行商品造成やPR活動等を行い、世界遺産地域からの来島やフェリーを活用した誘客に取り組み、年間を通じた来訪者数や島内での観光消費額の増加に努めたい。					
	与論町							
番号	事業名		アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数				
52	ヨロン島地域資源活用事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	72,000 人	80,000 人	42,694 人	53.4%	×
			値②	9,000 人	10,000 人	3,693 人	36.9%	×
			値③	0 件	5 件	5 件	100.0%	○
	事業実施年度	評価	【R3年度】新型コロナウイルスの影響によりイベントや研修等が実施できなかったものの、ガイド育成やPR活動、光害対策や島民の意識醸成などに取り組んだ。					
R 2 ~ R 5								
	事業主体	今後の取組方針	ガイドの養成講座やスキルアップのための支援等によりガイド数は徐々に増加している。引き続きガイド育成に取り組むとともに、ツアー等の受入れ窓口・体制(観光協会)の整備とPR活動を強化し誘客につなげていく。また、星空をみやすい環境整備のための光害対策と島民の意識醸成に向けた観望会等も引き続き実施する。					
	与論町							
番号	事業名		アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数				
53	ヨロン島来訪機会創出事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	72,000 人	80,000 人	42,694 人	53.4%	×
			値②	9,000 人	10,000 人	3,693 人	36.9%	×
			値③	0 件	5 件	5 件	100.0%	○
	事業実施年度	評価	【R3年度】 Youtube広告に加え、Facebook広告、Instagram広告といったメディアMIX型による配信を実施。訴求力の高い動画とInstagramは相性が良く、多くのフォロワー獲得に繋がった。					
R 元 ~ R 5								
	事業主体	今後の取組方針	コロナ後の観光需要回復のタイミングに合わせて訴求力の高い動画を中心にFacebook広告、Instagram広告を配信し、興味を持った視聴者を観光協会HP、観光協会SNSへ誘導することで、コアなヨロン島ファンを獲得し、来島者増へ繋げていく。					
	与論町							
番号	事業名		アウトカム指標	プログラムコースメニュー開発数				
54	ヨロン島ウェルネスプログラム商品造成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	0 件	5 件	3 件	60.0%	×
	事業実施年度	評価	【R3年度】 与論の薬草を活用した薬草サウナtentやお茶体験、海水温熱療法の開発を行った。本事業により、受入体制の構築を図るため、体験プログラムの開発や人材育成を推進することができた。					
	R 元 ~ R 3							
		事業主体	今後の取組方針	開発した旅行商品の動画作成を行い、観光協会HPに掲載している。今後は、これらの動画等を用いたプロモーション活動を行うことでツアーへの誘客を図っていく。				
	与論町							

番号	事業名		アウトカム指標	旅行者の観光満足度(奄美大島中長期観光戦略)					
55	奄美市滞在促進事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	平成 27 年度	令和 3 年度	令和 3 年度			
			値	60 %	68 %	48 %	70.1%	△	
	事業実施年度		評価	【R3年度】満足度低下の要因として、新型コロナ感染症拡大が依然として続いたことによる、観光・飲食面の行動制限(施設閉鎖・時短営業・島外客受入不可)等が影響していると考えられる。また、アンケート聴取方法の拡大によるサンプル数増加や、細かな調査設計の変更も一要因だと分析される(調査主体である観光物産連盟の分析より)。					
		事業主体		今後の取組方針	コロナ感染症で大きなダメージを受けた奄美観光の回復を図り、コロナ収束後の観光満足度の更なる向上や滞在日数の延伸につなげるよう各取組を実施する。				
					奄美市				
番号 <th>事業名</th> <th></th> <th>アウトカム指標</th> <th colspan="5">ツアー体験人数</th>	事業名		アウトカム指標	ツアー体験人数					
56	大和村奄美満喫ツアー助成事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度			
			値	11 人	150 人	4 人	2.7%	×	
	事業実施年度		評価	【R3年度】 新型コロナウイルスの影響に伴う満喫ツアー利用実績が減少となった。					
		事業主体		今後の取組方針	引き続き、奄美満喫ツアー助成事業を奄美大島5市町村連携で行うことにより、誘客促進及び交流人口の拡大を図る。				
					大和村				
番号 <th>事業名</th> <th></th> <th>アウトカム指標</th> <th colspan="5">瀬戸内町への年間入込客数の増加</th>	事業名		アウトカム指標	瀬戸内町への年間入込客数の増加					
57	瀬戸内町体験型観光メニュー利用者促進事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度			
			値	150,081 人	170,000 人	89,365 人	52.6%	×	
	事業実施年度		評価	【R3年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止等により、入込客が目標の52.6%の、89,365人となった。					
		事業主体		今後の取組方針	コロナ終息後の観光客増に向けて、瀬戸内町のPR活動・情報発信をしていく。				
					瀬戸内町				
番号 <th>事業名</th> <th></th> <th>アウトカム指標</th> <th colspan="5">奄美群島への入込客数のうち、観光客数</th>	事業名		アウトカム指標	奄美群島への入込客数のうち、観光客数					
58	宇検村奄美満喫ツアー助成事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度			
			値	343,741 人	386,251 人	276,565 人	71.6%	△	
	事業実施年度		評価	【R3年度】 前年度に引き続き、新型コロナの影響が大きく、執行することが困難な状況であった。					
		事業主体		今後の取組方針	新型コロナ収束のタイミング等を見計らい、奄美大島5市町村連携を図り事業を展開していきたい。				
					宇検村				
番号 <th>事業名</th> <th></th> <th>アウトカム指標</th> <th colspan="5">奄美群島への入込客数のうち、観光客数</th>	事業名		アウトカム指標	奄美群島への入込客数のうち、観光客数					
59	龍の郷滞在型観光促進事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度			
			値	343,741 人	386,251 人	276,565 人	71.6%	△	
	事業実施年度		評価	【R3年度】 ツアー助成を実施したほか、町公式観光動画を制作、Webによるプロモーションを展開した。コロナの影響で新規プログラムの造成は実現できなかった。					
		事業主体		今後の取組方針	町PR動画コンテンツを各方面で活用し、世界自然遺産登録やアフターコロナを見据えた国内外観光客の誘客を促進する。引き続きツアー助成も継続し、観光旅客の来訪及び滞在の促進を図る。				
					龍郷町				

番号	事業名		アウトカム指標	①滞在型プランの企画開発・ブラッシュアップ数 ②体験型観光の参加者数 ③観光客の実態把握数				
60	徳之島町滞在型観光促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値①	9 コース	12 コース	5 コース	41.7%	×
			値②	10 人	60 人	35 人	58.3%	×
			値③	0 人	300 人	35 人	11.7%	×
	事業実施年度	R 2 1号補正	評価	【R3年度】 昨年同様にコロナの影響で事業実施のタイミングが掴めなかった。				
	事業主体			今後の取組方針 今後はコロナの落ち着いた状況をみて検討していきたい。				
徳之島町								
番号	事業名		アウトカム指標	①徳之島への入込客数 ②天城町公式YouTubeの視聴件数 ③天城町公式Instagramのフォロワー数				
61	おいでよ！魅惑のアマパゴス事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	128,000 人	130,000 人	90,807 人	69.9%	×
			値②	- 件	1,000 件	91,110 件	9111.0%	○
			値③	- 件	500 件	712 件	142.4%	○
	事業実施年度	R 2 1号補正	評価	【R3年度】前年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、入込客数は目標を下回ったものの、ショートムービーの公開に伴い、町公式YouTubeや公式Instagramは目標値を大幅に達成することができ、観光PRIに繋がった。また、旅んちゅチケット(クーポン券)についても即完売となり、高評価であった。				
	事業主体			今後の取組方針 新型コロナウイルス感染症の収束により、滞在型観光客の増加が期待されており、世界自然遺産の島をアピールし、観光客の集客に努める。				
天城町								
番号	事業名		アウトカム指標	徳之島への入込客数				
62	長寿と子宝のまち滞在型観光促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	128,000 人	130,000 人	90,807 人	69.9%	×
	事業実施年度	R 2 1号補正	評価	【R3年度】引き続きコロナの影響を受けつつも、達成度70%の結果を出している。本事業により、町のPRやクーポンの発行し、観光客の滞在促進を図ることができた。				
	事業主体			今後の取組方針 コロナが収束に向かいつつ、社会的にも人々の移動が許容され始めている状況にある。今後は世界自然遺産を核として歴史文化面においても魅力発信を強化し、観光客の受け入れ態勢を整え、受け入れ客の増加を図りたい。				
	伊仙町							
番号	事業名		アウトカム指標	沖永良部島への入込客数				
63	高付加価値オープンエアー型プログラム創出事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	90,617 人	100,000 人	55,773 人	55.8%	×
	事業実施年度	R 2 1号補正	評価	【R3年度】緊急事態宣言やまん延防止措置等の影響により、R2年度に予定していた旅費助成等の一部事業実施ができなかったため、R3年度に繰り越して実施した。作成した動画やデジタルマーケティングの結果、多くのテレビロケ等の誘致につながるとともに、アンケートモニタリングシステムのサンプルも多く取得することができ、観光振興の基盤構築の一助になったと考えられる。				
	事業主体			今後の取組方針 システムで集計したアンケート結果を観光協会や知名町と共有し、データ・数値に基づいた観光施策立案を講じていく。				
	和泊町							

番号	事業名		アウトカム指標	沖縄県から和泊町への入込客数				
64	北山文化圏ロード構築事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	14,288 人	15,710 人	11,643 人	74.1%	△
	事業実施年度	評価	【R3年度】長期にわたる新型コロナウイルス感染症拡大の影響から昨年に比べても入込客数が減少したことで目標を下回った。また、予定していた沖縄向けのプロモーション活動についてもコロナウイルス感染症拡大のため、実施を見送った。					
	R 元 ~ R 3							
	事業主体							
和泊町	今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2年連続して沖縄向けのプロモーション活動が中止となっているが、今後の動向を注視しながら実施を検討する。						
番号	事業名		アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数				
65	与論町・国頭村連携遺産ロード構築事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	72,000 人	80,000 人	42,694 人	53.4%	×
	事業実施年度	評価	値②	9,000 人	10,000 人	3,693 人	36.9%	×
	R 元 ~ R 3		【R3年度】 沖縄県国頭村との連携によるイベントやPR活動を当初予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント等が中止となった。					
	事業主体							
与論町	今後の取組方針	国頭村との連携によるイベント等のPR活動、広域観光ルートの構築による域外からの観光客の誘客を図るとともに、両町村の民間団体や住民等の交流促進を図ることにより、同地域からの来島者の増加につなげる。						
番号	事業名		アウトカム指標	奄美スポーツキャンプにおいて、来島宿泊する延人数				
66	奄美市 スポーツキャンプ誘客拡大事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	12,000 人	12,000 人	9,524 人	79.4%	△
	事業実施年度	評価	【R3年度】キャンプが継続して実施されるよう、ニーズに対しきめ細やかに対応した。また、国内主要大会へ出向き、来島チームの激励と合わせ、新たなキャンプチームの誘客活動を実施した。さらに、業務委託により市受け入れ体制の再構築に向け、全国のスポーツコミッションに対し、運営体制や抱える課題等についてアンケート調査を実施した。本事業により、スポーツ合宿による誘客・交流人口拡大に向けた取組を推進することができた。					
	R 3 ~ R 4							
	事業主体							
奄美市	今後の取組方針	これまで培ったチームとの関係をキャンプの継続実施に繋げるとともに、誘客拡大に向けた取組についても引き続き実施し交流人口の拡大を図る。アンケート結果を参考に本市受け入れ体制の在り方について整備を進める。						
番号	事業名		アウトカム指標	奄美スポーツキャンプにおいて、来島・宿泊する延人数				
67	奄美市 スポーツキャンプ誘客拡大のためのスポーツ施設整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	12,000 人	12,000 人	9,524 %	79.4%	△
	事業実施年度	評価	【R3年度】施設整備に向けた実施設計業務委託を実施。本事業により、スポーツ合宿による誘客・交流人口拡大に向けて施設整備を推進することができた。					
	R 3 ~ R 4							
	事業主体							
奄美市	今後の取組方針	業務委託は令和3年度完了。 施設整備は令和4年度中に完成予定。						
番号	事業名		アウトカム指標	①ICT活用校数 ②全国学力・学習状況調査における主要2科目の平均通過率の平均				
68	徳之島型モデルICT活用教育推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値(①)	3 校	4 校	4 校	100.0%	○
	事業実施年度	評価	値(②)	▲ 5.5 %	100 %	133 %	133.0%	○
	R 元 ~ R 3		【R3年度】町内北部4小学校(児童・生徒の学力維持・向上、教職員のスキルアップを図った。その結果、主要科目の平均比較では目標を大きく上回った。					
	事業主体							
徳之島町	今後の取組方針	今後も地区指定校の合同遠隔授業を推進していくとともに、教職員のスキルアップを図る。						

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	インターネット塾受講人数(累計)				
69	ICTを活用した教育推進事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和元年度	令和3年度	令和3年度		
			値	13人	35人	6人	17.1%	×
事業実施年度	R2～R5	評価	【R3年度】引き続き全3学年を対象に開講したことにより、3年生の受験対策が図られた他、1,2年生の基礎学力の向上が早い段階で培われ、勉強に対する「気持ち」「姿勢」を身につけることが出来たことは、今後の生徒本人の「人間力」の向上にも繋がる事が期待出来る。					
			事業主体	コロナ禍の影響により、塾を閉鎖せざるを得ない状況となり、当初計画していた授業カリキュラムを完了させることに苦慮したことから、その社会的影響に左右されることなく、授業が可能となる方策を受託事業者と協議し、対策を図ることとした。				
			大和村					
事業主体	今後の取組方針							
大和村								
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	留学生人数				
70	奄美らしい離島留学推進事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成29年度	令和3年度	令和3年度		
			値	27人	40人	68人	170.0%	○
事業実施年度	R1～R5	評価	【R3年度】コロナ禍により、事業が実施できなかった自治体もあったが、中間目標値を上回る結果となった。					
事業主体	奄美市外6町村	今後の取組方針	今後とも集落文化の担い手不足や小・中学校及び高校の存続、産業の担い手不足を解決するため、離島留学の取組を実施していく。					
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	補助申請件数				
71	奄美群島加工品販路拡大実証事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和元年度	令和3年度	令和3年度		
			値	0人	20人	26人	130.0%	○
事業実施年度	R2～R5	評価	【R3年度】令和3年度は26件の申請件数があり中間目標を超える実績となった。					
事業主体	奄美市外6町村	今後の取組方針	周知を徹底し、申請及び助成件数増へとつなげ、積極的な事業者を引き続き支援することで、販路拡大の機会創出を図るとともに事業者の育成に繋げる。					
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	本場奄美大島紬協同組合による本場奄美大島紬検査反数				
72	本場奄美大島紬生産流通活性化事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度		
			値	3,874反	4,261反	3,290反	77.2%	△
事業実施年度	R3～R5	評価	【R3年度】3,290反(達成率参考)令和4年度目標4,261反に対する達成度は77%であった。本事業により、翌年度以降に実施する各種施策の指針となる、「第2期本場奄美大島紬産地再生計画」を策定することができた。					
事業主体	奄美市	今後の取組方針	令和3年度策定の「第2期産地再生計画」を基に、島内外での販路開拓事業を展開するとともに、認知度向上、需要喚起を図るためのPR事業も展開する。					
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島チャレンジ事業への応募・提案件数				
73	海洋教育を中心とした問題解決型学習による人材育成事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和元年度	令和4年度	令和3年度		
			値	0件	3件	4件	133.3%	○
事業実施年度	R3～R4	評価	【R3年度】人材育成講座を実施し14名が受講。講座の成果発表会と合わせて実施したビジネスプランコンテスト(イノベーションAWARD2022)では16名が発表し、4名(4事業)を優良事業として選定するなど目標達成に向けて取組みを進めている。					
事業主体	与論町	今後の取組方針	引き続きPBLによる人材育成講座及びビジネスプランコンテストを実施するとともに、町内外の関係機関等と連携しながら起業・創業支援体制を構築し、人材育成・起業支援を実施する。					

番号	事業名		アウトカム指標	①再生エネルギー由来の独自電源を使用する電力量の増加 ②再生エネルギー由来の電動モビリティに切り替えた移動距離の増加				
74	スマートアイランド推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値(①)	0 kWh	10,000 kWh	4,581 kWh	45.8%	×
			値(②)	0 km	10,000 km	156 km	1.6%	×
	事業実施年度	評価	【R3年度】 電動モビリティを導入し、観光客向けに貸出を行ったが、コロナ禍ということもありそもそも観光客の入込数が例年と比較し激減したため、目標としていた走行距離には満たなかった。しかしながら利用者を対象にしたアンケートにおいては前向きな意見が大半を占めていたため、今後の展望としては電動モビリティ等の利用拡大が期待される。					
	R 2 ~ R 3							
事業主体	今後の取組方針	電動モビリティの追加導入・充電スポットの拡充・利用対象者の拡大等を検討する。						
知名町								
番号	事業名		アウトカム指標	①防災行政無線の整備率 ②防災拠点施設(避難所等)要修復箇所数				
75	防災関連施設整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値(①)	58 %	100 %	100.0 %	100.0%	○
			値(②)	114 か所	62 か所	76.0 か所	122.6%	○
	事業実施年度	評価	【R3年度】 着実に要修復箇所の整備が進められている。					
	R 1 ~ R 5							
事業主体	今後の取組方針	台風常襲地帯である奄美群島において、安全・安心な環境を整備していく必要性は高いため、引き続き事業を実施していく。						
奄美市外10町村								
番号	事業名		アウトカム指標	ネコの不妊手術件数				
76	ネコ対策事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	1,539 件	1,300 件	786 件	60.5%	×
			事業実施年度	評価	【R3年度】令和3年度のネコの不妊手術件数は786件であった。未手術の個体数が減少していることより、実績が減少しているが、飼い猫の不妊手術、野良猫のTNR等を通し、ネコの自然増加を抑制し生態系保全の取組を推進することが出来た。			
	R 1 ~ R 5							
	事業主体	今後の取組方針	引き続き関係市町村、関係機関との連携しつつ、猫の不妊手術を行っていく。					
奄美大島5市町村 徳之島3町								
番号	事業名		アウトカム指標	パトロール1回当たりの希少種確認種数の積み上げ				
77	奄美大島希少野生動植物保護事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	1,000 種	1,000 種	7,000 種	700.0%	○
			事業実施年度	評価	【R3年度】令和2年度のパトロール1回当たりの希少種確認種数の積み上げは7,000種と目標を大きく上回ることができた。			
	R 1 ~ R 5							
	事業主体	今後の取組方針	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。					
奄美大島自然保護協議会								
番号	事業名		アウトカム指標	ノヤギの捕獲頭数				
78	ヤギ被害防除対策事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	217 頭	205 頭	251 頭	122.4%	○
			事業実施年度	評価	【R3年度】令和2年度のノヤギの捕獲頭数は251頭であった。野生化したヤギを防除することで、植生破壊や土砂崩壊による海洋汚染等を未然に防ぐことが出来た。			
	R 1 ~ R 5							
	事業主体	今後の取組方針	引き続きノヤギ捕獲により生息数の減少を図る。また、今後生息数の調査が検討されており、調査結果を踏まえ、事業効果の分析を行うこととする。					
市町村								

番号	事業名		アウトカム指標	モニタリング調査を継続実施した箇所において、 ①サンゴ礁被度がH28(またはH28以降初めて調査した年(以下、「H28※」と表記))と比較して5%以上、上昇した箇所数の増加 ②サンゴ礁被度がH28※比で5%以上、低下した箇所数 ③サンゴ礁被度がH28※比で新たに60%以上となる箇所数				
79	サンゴ礁保全対策事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値(①)	88 か所	106 か所以上	40 か所	37.7%	×
			値(②)	42 か所	27 か所以下	17 か所	63.0%	×
			値(③)	31 か所	54 か所以上	21 か所	38.9%	×
	事業実施年度	評価	【R3年度】 令和3年度の実績はそれぞれ①40か所、②17か所、③21か所であった。オニヒトデ等の駆除及びモニタリングを実施し、また、再生試験を実施することで、サンゴ礁の白化等の状況を把握することが出来た。目標に至らなかった要因としては、海水温の上昇、赤土の流出等があげられる。					
	R 1 ~ R 5							
事業主体	今後の取組方針	モニタリング調査結果を踏まえ、サンゴ礁の被度の地域毎の傾向を分析しつつ、効果的な事業を実施していく。						
市町村及び奄美群島サンゴ礁保全対策協議会								
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量				
80	奄美群島水産物流通支援事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	580 トン	616 トン	909 トン	147.6%	○
	事業実施年度	評価	【R3年度】 令和2年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は909トンであり、R2年度同様コロナ禍の影響により減少したものの中間目標値を上回った。					
	R 1 ~ R 5							
事業主体	今後の取組方針	引き続き沖縄県の市場への出荷することにより、販路拡大を目指す。						
市町村								
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島における海面漁業の生産額				
81	奄美群島水産業活力向上プロジェクト事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	10,170 百万円	10,329 百万円	8,471 百万円	82.0%	△
	事業実施年度	評価	【R3年度】 新型コロナウイルス感染拡大による需要低下や海底火山由来と思われる軽石の大量漂着等による出漁自粛等の影響を受け、目標値の約82%となった。					
	R 1 ~ R 5							
事業主体	今後の取組方針	シラヒゲウニの放流と併せて、奄美大島での種苗生産実証試験を行い、地元での種苗生産、放流体制を確立するとともに、安定供給が可能な養殖について検討を進める。 ヤコウガイについては資源回復や漁業生産の安定を図る取り組みについて検討を行う。						
奄美群島水産振興協議会、市町村								
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島における総生産額				
82	新型コロナウイルス感染症対策利子補給事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 5 年度	令和 年度		
			値	322,597 人	344,123 人	人		—
	事業実施年度	評価	※統計数値が示されていないため達成度未定					
	R 3 ~ R 5							
事業主体	今後の取組方針	引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に支障を来している者に対し、利子補給の支援を実施することで産業の活性化を図る。						
市町村								
番号	事業名		アウトカム指標	フリーランス育成者のうち収入を得た人数				
83	ICT及びフリーランス等産業支援拠点施設整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 3 年度		
			値	81 人	100 人	92 人	92.0%	△
	事業実施年度	評価	【R3年度】 令和3年度のフリーランス支援において、延べ57名を育成し、うち3名は新たなフリーランスとなった。施設の更なる活用により、目標達成を目指す。					
	R 2 繰越							
事業主体	今後の取組方針	令和3年度に施設運用が開始され、今後、施設運営手法をブラッシュアップすることにより、情報発信機能・支援体制の構築、ビジネスのマッチング、企業・人材・仕事の誘致、フリーランス発掘・育成にさらに取り組む。						
奄美市								